

とどろきおおのはらちく
轟・大野原地区コミュニティ

事務局だより ● 5月号



上不動区・宮田さんの4月のシャクナゲ

初夏の候、もうそんな時候の挨拶の時期となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。大変長い間、事務局だよりを発行いたしませんで、申し訳ありませんでした。なぜか文章が書けなくなりした。そんな時もあるかな、と開き直り、仕切り直しです。今後とも紙面にお付き合い頂けましたら幸いです。よろしく願いいたします。さて、この4月から5月の連休に、多くの方が、他の人のために働いておられました。おなじみ、上不動区の宮田英敏さんご夫妻のシャクナゲ園。名所となるにつれ、訪れる



不動の山肌に、やがて大村湾に沈んでゆく夕陽。しばし立ちつくしました。

人の数も、百の単位で急増。それでもお二人はお茶でもてなし、話をしお客様を見送ります。喧騒が過ぎ、ご主人がお茶畑の作業にとりかかったのは陽も傾きかけた頃でした。お体だけは気をつけてと声をかけ、急坂を、ちょっとぴりしんみりと下りました。



歩道からこぼれそうな芝桜

下段は、下不動区のれんげ畑です。写真は夕方ですが、思わず目を見張るほどの一面ピンクのじゅうたんがゴールデンウィークの観光客、市民の目を楽しませました。この5月の第1回環境整備部会では、連休にレンゲのピークを合わせるには、種まきをあと数日遅らせたい等、農家の方の3年目の熟議が交わされ、いかに皆さんに景観を楽しんでもらうか、あふれる心意気を垣間見ることができました。こちらの田んぼも夕暮れ・日没まで作業をされ、嬉野の水田は今から水鏡の様相を呈し、豊かな景色は潤いを増します。

